

「ニュースリリース」をお読みいただく前に必ずご確認ください。

本資料および、「ニュースリリース」に記載されている内容は、このニュースリリースが作成された時点のものとなります。また、この保険の内容については、以下にご注意ください。

なお、本資料および、「ニュースリリース」は保険契約を目的としたものではありません。この保険の詳細については、「パンフレット」などをご覧ください。

- この保険は、解約払戻金額・年金原資の最低保証はありません。
- この保険を解約・減額される際には、解約控除をご負担いただく場合があります。
- この保険は、特別勘定の運用実績に基づき、災害死亡給付金額・死亡給付金額・積立金額・解約払戻金額などが日々変動(増減)する投資型年金保険(生命保険)です。特別勘定の資産運用は、主に株式・債券などに投資をする各投資信託を通じて行われるため、株価や債券価格などの変動により、解約払戻金額などはお払い込みいただいた保険料の合計額を下回る場合があります。

【諸費用について（この商品にかかる費用は、つぎの合計となります）】

	項目	費用
ご契約時	契約初期費用	この保険には、契約初期費用はありません。
運用期間中	保険関係費用	積立金額に対して年率1.55%/365を毎日控除します。
	運用に関する費用*1*2	各特別勘定ごとに定められた年率0.00105%~1.134%(税抜0.001%~1.08%)程度/365を毎日控除します。
	契約維持管理費	月単位の契約応当日の前日の基本保険金額が 200万円以上：無料 50万円以上200万円未満：積立金額に対して月率0.02% 50万円未満：月額150円+積立金額に対して月率0.02%
	積立金移転費	1保険年度内の移転回数に応じてつぎのとおりとなります。 ①6回以下：無料 ②7回以上：7回目から1回につき1,000円
年金受取開始日以後	保険関係費用(年金管理費)*2	・年金額に対して1.0%を毎年の年金支払開始日に控除します。 ・年金の型が変動型の場合、上記に加えて、積立金額に対して年率0.8%/365を毎日控除します。*3
解約・減額時	解約控除	解約控除額=解約・減額に相当する積立金額×解約控除率 解約控除率=(解約・減額する基本保険金額-解約控除免除額)×経過年率(上限7.0%)※÷解約・減額する基本保険金額 解約控除免除額=解約・減額前の基本保険金額×解約控除免除率(上限5.0%)※ ※ 経過年率および解約控除免除率は、契約日(増額日)からの経過年数などにより異なります。

*1 主な投資対象となる投資信託の信託報酬を記載しています。運用に関する費用には信託報酬の他、信託事務の諸費用・有価証券の売買委託手数料などがかかる場合があります。これらの費用は取引量などによって変動しており、費用の発生前に具体的な金額や割合を確定することが困難なため、表示しておりません。

*2 これらの費用は将来変更される可能性があります。

*3 年金の型が変動型の場合、年金支払開始日以後も特別勘定で運用されますので、「運用に関する費用」や「積立金移転費」は運用期間中と同様にご負担いただきます。

平成15年2月17日
T & D フィナンシャル生命保険株式会社

変額個人年金保険「T & D フィナンシャル生命投資型年金u」「楽々生活」
への特別勘定の追加について

T & D フィナンシャル生命保険株式会社（社長 水山 修）は、平成15年2月17日より、変額個人年金保険「T & D フィナンシャル生命投資型年金u」「楽々生活」に外国債券型A、外国債券型Bの2本の特別勘定を新たに追加し発売いたします。

「T & D フィナンシャル生命投資型年金u」「楽々生活」の特別勘定は、日本株式ファンド・オブ・ファンズ型、日本株式インデックス型、バランス型A、バランス型B、外国株式型、マネー型と上記2本を合わせて合計8本となり、さらにお客様の多彩な資産運用のニーズにお応えできるようになりました。

＜追加する2つの特別勘定＞

特別勘定名	外国債券型A	外国債券型B
特別勘定の運用方針	当特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「シティ・米国短期債ファンドV A (適格機関投資家専用)」に投資することにより行います。	当特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「シティ・ユーロ短期債ファンドV A (適格機関投資家専用)」に投資することにより行います。
主な投資対象となる投資信託名	シティ・米国短期債ファンドV A (適格機関投資家専用)	シティ・ユーロ短期債ファンドV A (適格機関投資家専用)
主な投資対象となる投資信託の運用会社	シティグループ・アセット・マネジメント株式会社	シティグループ・アセット・マネジメント株式会社
主な投資対象となる投資信託の運用方針	主として米ドル建ての短期の投資適格債に投資し、外貨ベースでの安定した収益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。	主としてユーロ建ての短期の投資適格債に投資し、外貨ベースでの安定した収益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。

以 上